

# きみん くようとう 飢民の供養塔



## 町指定有形文化財

指 定 年 月 日：昭和 55 年 2 月 12 日

製作年／製作者：明和元年（1764 年）／16 世尋誉大竜上人

所 在 地：波野 4 番地（大恩寺境内）

田布施大字波野の大恩寺境内に高さ 1m ほどの供養塔があります。

享保 17 年（1732 年）に、天候不順や虫害などの被害によって、当時の収穫高の 80% にあたる損害が生じたことによる大飢饉に陥ったといわれています。また、この年は、<sup>ほうそう</sup>瘡癩の流行も重なったこともあり、飢えだけでなく病気に苦しむ人々も多くいたようです。

この出来事により、享保 17 年における萩藩の人口約 48 万 6 千 5 百人のうち約 17 万 7 千 5 百人（総人口の約 36%）の人が亡くなったとされています。また、家畜なども藩内の 90% 近くが虫害を受けた枯草を食べることになり死滅したようです。

飢民の供養塔は、飢饉や病で亡くなった人々を供養するためでなく、これらの惨事を記録することで、当時の惨状を繰り返さないための役割をもつ重要な供養碑となっています。飢民の供養塔へは JR 田布施駅から徒歩約 10 分。

※参考・引用文献 池田利彦 1990「享保の大飢饉」『田布施町史 第四編近世 第三章 村の生活』田布施町

### 問合せ先

田布施町教育委員会 社会教育課 社会教育係

Tel:0820-25-3185/Fax:0820-52-4904

E-mail shakaikyoiku@town.tabuse.yamaguchi.jp